

平成30年度北海道大学大学院

文学研究科修士課程入学試験問題（後期）

試験区分	<input type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試
試験科目名	<input type="checkbox"/> 専門試験（ 地域科学 ） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	<p>問1：本設問においては、地域社会学分野、社会生態学分野、人文地理学分野の3分野から各々小問2題が出題されており、各分野の基礎概念を用いて専門的な議論を行う能力や、専門的な知識を現実問題に応用する能力を見る。</p> <p>問2：本設問は、社会生態学、保全生態学、環境社会学、地域社会学、人文地理学、地誌学などに関する基礎的な専門用語の理解度を確かめ、さらに指定された文字数で専門的な見地から明確に記述する能力を見る。</p>

平成30年度
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 地域科学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1枚、解答用紙 4枚を配付する。

問1は、小問1問につき解答用紙1枚を使用すること。問2は、小問5問で解答用紙2枚を使用すること。なお、選択した小問の番号を解答用紙に記すこと。また、各問では図を用いて説明を行ってもよい。

問1 下記の設問から2つ選択して解答せよ。

1. 人文地理学的な事象に関する分布図を作成するための方法を説明しなさい。その際、事象の選定、スケールの選定、ベースマップの有無、凡例の位置、題目の配置に注目しなさい。また、そのような方法をとる理由も説明しなさい。
2. なぜ外来種問題が島嶼地域において特に深刻な影響をもたらすのか、その理由を生態学的見地から説明せよ。
3. 途上国の農村の「貧困」について調査をする場合、その視点やデータについて、どのようなバイアス（偏り）に注意しなければならないだろうか。さまざまな状況や調査方法を想定しながら、考えるところを論述せよ。
4. 衛星測位の位置精度向上が人文地理学研究にもたらす影響について論じよ。
5. 社会調査や地域調査が用いる（広義の）データにはどのようなものがあり、それぞれどのような特徴を持っているかを論述せよ。
6. 野生動物研究において、食性研究の持つ意義について論述せよ。

問2 次の用語から5つを選択し、専門的な見地からそれぞれ200字程度で説明せよ。

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1. 地政学 | 9. 通貨危機 |
| 2. 生活環境主義 | 10. 漸次構造化（フィールド研究における） |
| 3. エコロジカルフットプリント | 11. 先駆者効果（founder effect） |
| 4. オイルショック | 12. 意味世界 |
| 5. 順応的管理 | 13. 標識再捕獲法（mark-recapture） |
| 6. 過疎化 | 14. マスツーリズム |
| 7. 生活史調査 | 15. グリーンコンシューマー運動 |
| 8. バラスト水 | |